

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体の構造と機能15							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	3期	齋藤 昭彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	人体の構造と機能			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として対象者の運動機能を正しく評価・治療するための科目である。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として対象者を正しく評価・治療することができるようになるために、人体の構造と機能のうち、運動学領域の知識を習得し、運動分析能力を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 頭頸部・体幹の運動について理解し、対象者の運動を考察することができる。 2. 姿勢、歩行について理解し、対象者の姿勢、歩行を分析することができる。 3. 運動発達について理解し、対象者の運動年齢を分析することができる。 4. 運動学習について理解し、対象者の運動指導に利用することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学の基本的な知識が必要となります。							
教科書・参考書							
運動学 改訂第3版 医歯薬出版							
受講上の注意							
予習・復習を大切にしてください。わからないことはその日のうちか、遅くともその週のうちに解決するようにしてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	四肢と体幹の運動(脊柱、頸椎)			p146-160	教科書・配布資料		
第2回	四肢と体幹の運動(胸椎、腰椎、呼吸運動)			p161-172	教科書・配布資料		
第3回	四肢と体幹の運動(顔面の運動)			p173-176	教科書・配布資料		
第4回	姿勢			p177-188	教科書・配布資料		
第5回	歩行①(歩行周期、重心移動の軌跡、下肢の関節運動、効率的な歩行を決める要因)			p189-196	教科書・配布資料		
第6回	歩行②(床反力、歩行時の筋活動、歩行のエネルギー代謝)			p197-205	教科書・配布資料		
第7回	歩行③(走行、異常歩行)			p206-211	教科書・配布資料		
第8回	運動発達			p213-223	教科書・配布資料		
第9回	運動学習			p225-230	教科書・配布資料		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
理学療法の臨床および理学療法教育に40年間携わった実績を踏まえ、運動学の重要ポイントについてわかりやすく説明する。							
メールアドレス							
a.saito-t@nihonisen.ac.jp							